

子ども体験フェスティバル2025における支援の会の活動について
 (開催日：令和7年8月20日(水))

1 無料送迎バスの利用者数について

県内各地から6ルートの無料送迎バスを運行し、190名(子ども146名、引率者44名)にご乗車いただきました。

地区	乗車人数	うち子ども	
		うち子ども	うち引率者
筑紫	12	9	3
北九州	29	21	8
宗像粕屋北部	41	37	4
筑豊	38	28	10
糸島	24	16	8
筑後	46	35	11
合計	190	146	44



2 会場における子ども達の見守りについて

○ 見守りを希望した子ども122名について、ボランティアとして西陵高校や精華女子高校、福岡雙葉高校等の生徒及び大学生、合計43名が見守りを行いました。



3 支援の会の対応について

- 子ども達は会場に到着後、各ブースで体験を2回行いました。
- 支援の会は、送迎バスの費用や体験ブースでの材料費を負担したほか、子ども達に軽食（パン、お菓子、お茶）を提供しました。

4 参加者の声

- おみやげ（帰りのバスでもらったパンやお菓子）がすごくうれしかった。
- バスハイクが夏休みの大きなお出かけだったので、夏休みの絵日記に書きました。
- パンやお菓子、飲み物を提供してくださった企業の方々、会員企業のみなさまには、本当に感謝しています。
- 1人2個体験できたので、子どもたちが喜んでいました。
- 夏休み、自分は仕事があり、どこにも連れていけなかったのが、いい思い出になりました、ありがとうございます。
- 友達とおんなじグループで回れたのが楽しかった。



5 支援の会のご紹介について

- 会場内に支援の会のブースを設置し、パネルや動画放映、支援の会のノベルティ配布（100セット）により活動内容や会員企業様のご紹介を行いました。
- 当日は、館内放送で支援の会をご紹介いただきました。



ゼンリンプレゼンツ：ギラヴァンツまると体験 ～ 試合もスタジアムのウラ側もぜんぶ見せますツアー ～について

1 ゼンリンプレゼンツ：ギラヴァンツまると体験について

- 令和7年4月26日（土）に、未来子どもチャレンジふくおか支援の会の会員「ゼンリン」の協力のもと、北九州地域の子ども食堂利用者及び児童養護施設の子ども達を対象に「ゼンリンプレゼンツ：ギラヴァンツまると体験～ 試合もスタジアムのウラ側もぜんぶ見せますツアー～」を開催。
- 当日は、子ども達や引率者、ボランティアを含め約120名が参加しました。



2 体験活動の内容について

- 子ども達は、まずミクニワールドスタジアムのバックヤードツアーに参加し、普段見ることのできない選手控室やVIP ルームを見学しました。
また、ピッチでは記念撮影を行い、ピッチの芝についての秘密を聞き感心していました。
- その後、試合が始まるまでの休憩時間にギラヴァンツのマスコットキャラクターであるギラン君がモチーフの特製弁当を堪能しました。
- 試合が始まると目の前で繰り広げられる熱戦に子どもたちは大興奮でした。
- 試合は惜しくも敗れてしまいましたが、子どもたちは帰りの道中に試合の様子を楽しそうに振り返っており、貴重な体験となった様子でした。

3 参加者の感想

- 迫力のあるサッカーを目の前で観戦できとても感動しました。
- 試合がすごかったです。僕もサッカーの試合に出たいです。
- 選手が座るベンチや普段入ることのできないところに入れていい経験になりました。
- 子どもたちに貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

未来にチャレンジ！ふくや明太子づくり体験について

1 未来にチャレンジ！ふくや明太子づくり体験について

- 令和8年2月21日（土）に、未来子どもチャレンジふくおか支援の会の会員「株式会社ふくや」と共同で、午前は福岡地域の児童養護施設、午後は筑豊地域の子ども食堂利用者を対象に「未来にチャレンジ！ふくや明太子づくり体験」を開催。
- ふくやは明太子づくり体験、工場案内及び明太子試食体験を、支援の会事務局は工場への送迎バスチャーターやお土産の配付などを担当しました。
- 当日は、子どもたちや引率者を含め72名が参加しました。



2 体験活動の内容について

- 子どもたちは、ふくやの担当者から、明太子の歴史や豆知識などについて、クイズを交えた講義を受けました。
- 明太子づくり体験が始まると、子どもたちは和気あいあいと、時に歓声をあげながら、とうがらしの量を調節したり、バジルや黒コショウを加えたりして、オリジナルの明太子を作りました。
- その後、工場内を見学し、スパイミッションでは工場内にちりばめられたヒントを集め、楽しんでクイズを解き明かしていました。

3 参加者の感想

- いろんな味の明太子を食べれてよかった。
- 韓国での体験から、明太子が作られたと知らなかった。
- また、ふくやの工場見学に行きたい！！
- 福岡に明太子の会社が200社もあることを知った。
- 明太子の名前の由来が分かった。

児童養護施設の体験活動イベントについて

- 令和7年10月25日に実施された甘木山学園（大牟田市）と白梅学園（柳川市）合同体験活動イベントをNPO法人Wing-Wingと共同で支援しました。
- 両学園の子ども・先生、学園中高生ボランティア約70名が参加しました。



- NPO法人Wing-Wingは華道体験と知育玩具体験を、支援の会事務局は折り紙ヒコーキ体験を実施。
- 華道講師の指導のもと、お花を切ってフラワーポットに生けました。完成したアレンジメントをお部屋に飾るのが楽しみです。
- その後、子ども達は知育玩具に挑戦しました。発想力や想像力などの知能を養う知育玩具に、子ども達は歓声を上げながら取り組みました。
- 最後に折り紙ヒコーキも体験しました。県大会予選会も同時開催し、基準を突破した6人が県大会の出場権を得ました！（基準：飛行距離10m～12m以上など）

<参加者の感想>

- 昨年度に引き続き華道体験ができて良かった。水やりが楽しみ。
- 学園で生活している中・高生をボランティアとして参加させてもらいました。彼女たちにとっても、子ども達の世話をするというよい体験活動になりました。ありがとうございます。
- 去年と違う遊びができてよかった。